

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2017年度日本陸上競技連盟競技規則に準ずるが、児童である年齢を考慮した教育的配慮の元に競技を進行する。

2. 競技方法について

- ①スパイクシューズのピンの長さは9mm以下で、全天候舗装用とする。
ただし、走高跳については12mm以下とする。本数は11本以内とする。
- ②短距離のスタートは、スタンディングスタートを認めます。
- ③スタートは同じ競技者が2回不正スタートをしたときは、その競技者を失格とする。
- ④リレー競走におけるテークオーバーゾーン手前10mの補助ゾーンは使用してもよい。
- ⑤80mハードルの規定

スタートから第1ハードル	高さ	インターバル	台数	最終ハードルからゴール
13m	70cm	7m	9台	11m

- ⑥800mはオープンレーンで実施します。
- ⑦リレーオーダーはプログラムに記載されている選手以外は認めない。
- ⑧走高跳（はさみ跳）は、マットへの着地は足裏からとし背・腰等からの着地は無効試技とする。

3. 場内司令について

特に認めた監督・コーチ・報道・選手・補助員・競技役員以外は、競技場に入ってはならない。
また、競技者の本部前の通行は厳禁とする。

ただし、各チーム監督、コーチ3名の入場を許可する。その場合は主催者が用意する許可証を必ず付けること。

4. 練習について

投てき練習は、競技開始前に、フィールド内で主任審判の指示により行なうこと。

以上2、3については監督・顧問・キャプテンは、チームに徹底させること。

5. 招集について

①招集場所は第4ゲート付近の場外に設ける。(会場見取り図参照の事)。

各種目の招集開始・完了時刻は、当該種目の競技開始時刻を基準とする。

招集開始時刻及び完了時刻は競技日程表に記載しています。

②選手は、招集開始時刻に集合し、競技者係及び競技役員より最終点呼を受け、ナンバーカードの点検・確認を受けること。

③招集時刻に遅れた場合、当該種目を棄権したものとして処理する。

※招集時間は、タイムテーブルを基準とする。

④代理人による招集は一切認めない。また出場選手以外の招集場への立入りを禁止する。

6. ウォーミングアップ場所について

①練習は、雨天練習場を使用する。

②競技場は9時まで使用可能とする。

③競技場バックストレート2～8レーンを12時30分まで使用可能とする。

ただし、走幅跳の競技中のため試技の妨げにならないように注意する事。

※アナウンスに注意すること。

7. ナンバーカードは、ユニホームの胸と背に確実に付けること。

跳躍種目はこの限りでない。

8. 試技順について

試技順はプログラム記載の順とする。

9. リレーオーダー用紙は12時までに記録室に提出すること。オーダー用紙は受付の時に受取る事。

10. チーム(学校)控え場所の清掃は、監督・顧問・キャプテンの指示により確実に行なうこと。

各チーム(学校)で出したゴミは、確実に持ち帰ること。

11. 個人情報の取り扱いについて

本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しません。